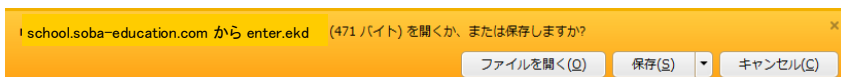


# 参加時のファイルのダウンロードについて

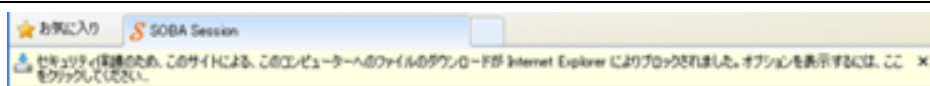
授業に参加する際にサーバーに接続しますが、SOBA クライアントをコントロールするためのコマンドファイル (enter.ekd) がダウンロードされます。ブラウザ毎に異なりますが、下記のように、ファイルを開く等して実行することで利用できます。

※自動実行の設定にしても、ブラウザのアップデートにより元に戻る場合があります。「開始/参加ボタンを押したら何かダウンロードされたようだけど、おかしいな～何も始まらない」という場合、こちらをご確認ください。

## ■ Internet Explorer の場合

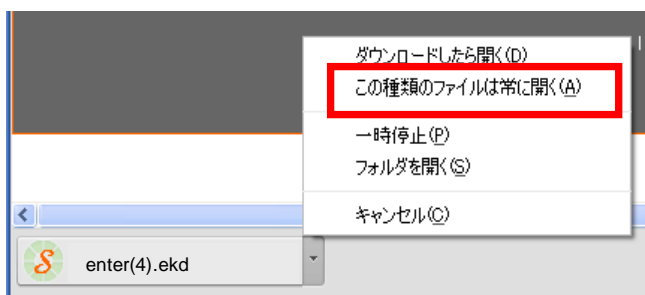


IE9 以降の場合、ページ下に上図のようなダウンロードバーが表示されますが、「ファイルを開く」をクリックすると起動します。今後ファイルのダウンロードを自動で実行するには、SOBA school クライアントソフトを上書きインストールします。



IE8 以前の場合、ページ上に上図のような情報バーが表示されますが、ここをクリックしてファイルのダウンロードのブロックを解除すると起動します。今後自動で実行するには、メニュー「ツール」→「インターネットオプション」→「セキュリティ」タブで「レベルのカスタマイズ」をクリックして、「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を「有効にする」にチェックし「OK」をクリックします。

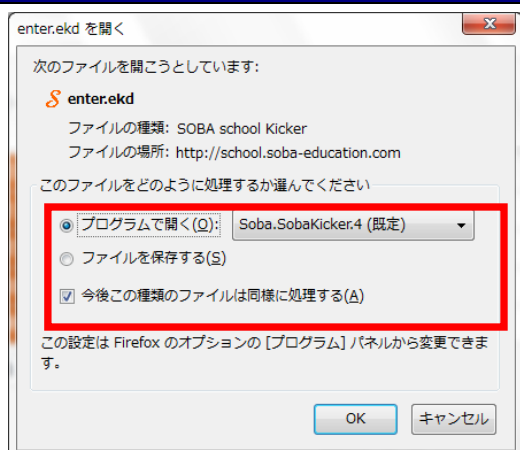
## ■ Google Chrome の場合



ページ下に、左図のようなダウンロードバーが表示されますが、「enter.ekd」をクリックすると起動します。

今後自動で実行するには、右クリックでメニューを表示、「この種類のファイルは常に開く」にチェックします。

## ■ Firefox の場合



左図のようなダイアログが表示されますが、「プログラムで開く」で「Soba.Sobakicker (既定)」を選択し、「OK」をクリックすると起動します。

今後自動で実行するには、「OK」の前に、「今後この種類のファイルは同様に処理する」にチェックします。